

2020年11月20日 青山こども園

今年も残すところひと月余りとなりましたが、今年初めての保育園での講座です。今回は長崎市の青山こども園にお邪魔しました。保育園に到着すると、子ども達は園庭を元気いっぱい走り回っていました。今日は年長さん27名と一緒に勉強です。

1. はじめのかい

ドラえもんのお友達、のび太、しずかちゃん、ジャイアン、スネ夫、4人の登場です。子ども達はドラえもんのキャラクターに歓喜の声を上げ、絵の周りに集まってきました。4人を並べて、「目の形は?」「お鼻の形は?」と子どもたちに尋ねます。「くるくる、ぱっちり、ちょっと上がってる」など、それぞれ違うところ、同じところがあることに気が付きました。これが“とくちょう”です。これから“とくちょう”をつかったゲームを進めていきます。



2. PTUのあじ

PTUの試薬をしみこませたろ紙をなめて、味がする、しないの“とくちょう”をみていきます。子ども達は恐る恐るろ紙を舐めて、「苦い!」と顔をしかめる子、「味がしないよ」という子といろいろでした。一つの“とくちょう”をみてみると、味がする子としない子どっちもいることがわかりました。



3. いでんの木

いろんなからだの“とくちょう”を見ていきます。子ども達は「このとくちょうは自分にある!お友達はどうかな?」と互いに“とくちょう”を確認していました。そして、自分の“とくちょう”をあらわしたシールを“とくちょうカード”に貼っていきます。シールが花びらのようで、自分だけの可愛いお花ができました。

このお花を『いでんの木』に貼っていきます。『いでんの木』の枝分かれに“とくちょう”が示してあり、根元からじぶんの“とくちょう”が示してある方向に進み、行き着いた枝先に自分のお花を貼りました。

みんながお花を貼り終えてみると・・・全部の枝にお花が咲きました。とってもきれいなお花が咲きました。

これはどうしてでしょう?

いろんな“とくちょう”をもった、いろんなお友達がいるから、こんなにきれいなお花が咲くのです。



とくちょうカード



(ここで少し、休憩タイム)

次のゲームでは手をつなぐので、とくちょうカードを背中に貼ろうと声をかけました。すると、子ども達はとくちょうカードを甲羅にみたくて、カメの真似をして這い這いを始めました。子ども達の発想は本当に豊かで、遊びを見つける天才です。



4. とくちょうゲーム

みんなで手をつないで、大きな輪を作ります。“とくちょう”を一つ一つ読み上げながら、同じ“とくちょう”の組み合わせをもつ子ども達の輪に分かれていきます。一つの輪から二つ、三つと分かれていきました。とくちょうを読み進めると、同じとくちょうの組み合わせをもつお友達がいなくなり、一人になったらゴールです。子どもたちは次々に一人になって、「やった〜！」とゴールしていきます。このゲームは全員が必ず一人になります。



必ず一人になるのは、同じ“とくちょう”の組み合わせをもつ人はいないからです。つまり、私は世界にただ一人の存在であり、大切な人です。周りのお友達も世界でただ一人の大切な人です。

おわりに

子ども達は来年4月に小学生になり、いろいろなお友達と出会うでしょう。今回、一緒にお勉強した“とくちょう”が、子ども達が成長する中で何かの役に立てることを期待します。

文責 佐々木規子



みんなとっても良い笑顔 (いでんの木を囲んで記念写真)